

新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	コロナ禍における本学オリジナル高齢者看護学実習プログラムによる学修効果の評価と課題
②対象者及び対象期間、研究代表者	<p>対象者：令和4年度と令和5年度のエイジング看護実習受講者</p> <p>対象期間：倫理審査承認後～2024年9月30日</p> <p>研究代表者：柿原奈保子</p>
※対象者：令和4年、5年にエイジング看護実習を受講した者およびこれからする者	
③概要	エイジング看護実習における成績評価、および脳トレ年齢データ、授業評価アンケート集計結果の利用の同意・不同意について
<p>コロナ禍において、エイジング看護実習では、以前のように高齢者施設での実習ができませんでした。その代替手段として学内実習を実施してきましたが、その効果と課題について詳細に分析したいと思います。つきましては、エイジング看護実習における成績評価、および脳トレ年齢データ、授業評価アンケート集計結果の利用の同意・不同意について伺います。</p> <p>脳トレデータや成績評価について、自身の分を利用してほしくない場合にのみ、拒否機会として研究代表者である柿原研究室に履修年度の翌年の5月31日までに連絡してください。拒否しても、成績評価は完了した後であることから全く成績や今後の学修機会に影響はありません。</p> <p>尚、授業評価アンケートは集計時に既に個人が特定できないようになっており、任意での回答であることから自身の回答を削除はできません。</p>	
④申請番号	2022 - 0292
⑤研究の目的・意義	皆さんが受講したエイジング看護実習において学ぶ内容や方法の効果や改善を明らかにしたうえでそれを改善することを目的としています。本研究によって教育の質の向上につながることに意義があります。
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2025年9月30日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	※③で示した結果について、研究対象者に対し自身の情報がエイジング看護実習のプログラムの改善のために利用され、学術雑誌投稿によって公表されます。
⑧利用または提供する情報の項目	エイジング実習における成績評価、および脳トレデータ、授業評価アンケート集計結果
⑨利用する者の範囲	<p>新潟大学で利用いたします。</p> <p>新潟大学医学部保健学科看護学専攻</p> <p>研究責任者：柿原奈保子</p>

④試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学 医学部保健学科看護学専攻 研究責任者：柿原奈保子
④お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：大学院保健学研究科看護学分野 氏名：柿原奈保子 Tel：025-227-0942 E-mail：kakahara@clg.niigata-u.ac.jp